

カンキツグリーニング病 持込み診断のご案内

沖縄県ではカンキツグリーニング病まん延防止のため、持込み診断を実施しています（無料）。

カンキツグリーニング病とは？

世界的に重要なかんきつの病害。**感染すると数年後に枯れる。**

病気の広まり方：ミカンキジラミが媒介、病気の木からの取り木・接ぎ木

病気の治療方法：**なし**。感染源となる病気の木は速やかに伐採処分する。

ミカンキジラミ

成虫

2~3mm



幼虫

1~2mm



感染



枯死



カンキツグリーニング病の症状

下の図のように、木の一部の枝が枯れたり、右の図のような特徴のある葉が見られます。

枝枯れ



主脈の黄化



まだら退緑



脈間黄化



黄化

サンプルの採集方法

- ・ 検査したい木 1 本につき、4 方向から症状のある葉(5 枚程度)を含む枝を 1 本ずつ計 4 本採取し、まとめて袋にいれる。
- ・ 検査したい木が複数本ある場合は、どの木から採集したか判別できるようにする。

(例：No.1、No.2 ...と番号をつける等)

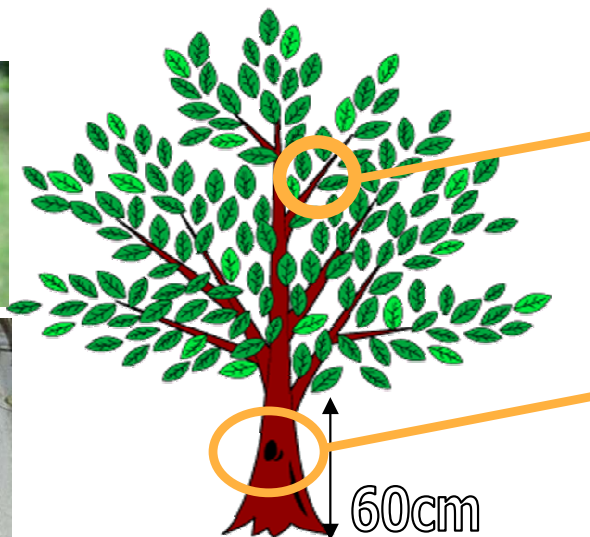


※葉は切り離さずに枝ごと4本入れる



ゴマダラカミキリの被害

ゴマダラカミキリによる被害もカンキツグリーンング病と同様の症状を引き起こします。サンプル採取の際は、下記のような被害がないかも確認してください。



樹皮の食害痕



成虫の脱出孔

カミキリムシ対策

- ①脱出孔に専用殺虫剤をまいた後、肥料等をまき、樹勢を高める。
- ②4月までに株元から高さ60cmまで、ネット等を巻く(産卵防止)

持込み診断の依頼やお問い合わせは下記にお願いします。

* 本部町役場農林水産課:0980-47-2412

* 病害虫防除技術センター本所: 098-886-3880